

2023年12月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+20.7	柏 店 ※3	△0.6
堺 店	△2.3	(株)高島屋各店計	+8.4
京 都 店 ※1	+12.7	(株)高島屋各店計 ※4	+10.1
泉 北 店	+0.2	岡 山 高 島 屋	+0.4
日 本 橋 店	+8.1	岐 阜 高 島 屋	△9.4
横 浜 店 ※2	+1.4	高 崎 高 島 屋	△1.9
新 宿 店	+4.5	国 内 百 貨 店 計	+7.5
玉 川 店	+0.8	国 内 百 貨 店 既 存 店 計 ※4	+9.1
大 宮 店	△10.0		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+14.9%となります。

※2 2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の前年実績を除いた実質では前年比+3.8%となります。

※3 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※4 2023年1月に営業を終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+9.1%、2018年比+5.6%と上回りました。

国内顧客は、年末年始の外出機会の増加に伴い、化粧品やジャケット、ワンピースなどに動きが見られました。

また、インバウンドは、高額品を中心に単月で過去最高を更新しました。

店頭売上高 前年比+7.5%(※+9.1%) 2019年比+7.5%(※+11.1%) 2018年比+2.1%(※+5.6%)

免税売上高 前年比+111.2% 2019年比+90.4% 2018年比+64.2%

免税を除いた店頭売上高 前年比+2.4%(※+3.9%) 2019年比 +2.9%(※+6.5%) 2018年比△1.7%(※+1.9%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、岡山店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、スポーツ、美術、サービスが前年実績を上回りました。

以 上